

笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山

熊本市中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階

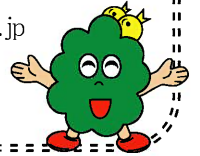
第47号

電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232

E-mail;sasaeriaobiayama@kyouninkai.jp

令和3年6月

http://www.kyouninkai.jp/obiayama/



第一回 地域運営協議会



令和3年5月28日金曜日に第一回地域運営協議会が開催されました。今回はZOOMを活用したオンラインでの開催となりました。組織のメンバーは各校区社会福祉協議会会長および民生児童委員会長、大学教授、司法書士、市社会福祉協議会、中央区まちづくりセンター、中央区福祉課総勢18名の方々です。当日は今年度のささえりあ帯山の方針を報告し、その後コロナ禍における各校区の実情を協議しました。コロナ禍でサロンが中止になったり、見守り活動自体が少なくなっている現状はあるものの、自治会と連携し見守りを継続したり、民生委員さんが玄関先でちょこっと訪問したりと出来る活動を継続されている事を知りました。その中で地域を直接回る事の大切さや、平時の繋がりが災害時の見守り活動に繋がってくる事、コロナ禍において連携の難しさはあるものの、これまでの地域と専門職と一緒に地域作りに取り組んできたことをふり返りました。今後も地域の中で共に活動の支援をさせて頂けたらと強く思いました。

New Face!



こんにちは。5月よりささえりあ帯山に入職しました「田中 希(のぞみ)」と申します。これまで病院の相談員や介護支援専門員などの経験をしてきました。体を動かす事が大好きで、休みの日は運動や、自分で作った料理で晩酌を楽しんでいます。皆さんとお会い出来る事を楽しみにしています。宜しくお願いします！

居宅包括連絡会

令和3年5月25日(火)に居宅包括連絡会を開催しました。圏域のケアマネジャーの方25名他、医療機関の方々や障がい者相談支援センターの方にご参加いただき、オンラインで開催いたしました。

内容としては、今年度のささえりあ帯山の活動予定、全体的な方向性と各班(①在宅医療・介護連携班、②困難事例・認知症班、③生活支援・介護予防班)ごとに説明をさせて頂きました。行政からは熊本市はつらつプラン、地域支え合い型サービス、短期集中予防サービスについて、ご説明を頂きました。昨年中は、コロナ禍で様々な活動が中止となり、今まで地域や専門職の方々と積み上げてきたものがなかなか開催できません。また生活様式の変化に伴い地域における課題も変化してきている様です。これからも地域の方々や、ご参加いただいた専門職の方々と共に、この難局を乗り越えていきたいと考えております。

直接会えなくても同じ空間に居る事で相手の気持ちや表情が伝わってきます



地域の活動紹介

コロナ禍が続きますが、3校区それぞれ出来る範囲で、出来る集まりや、出来る協議の場を継続されています。そんな一場面を紹介させていただきます！

● 帯山校区6町内 “えんがわサロン”

令和3年4月20日（火）帯山6町内公民館でえんがわサロンが開催されました。当日はマスク着用や距離をとりながら感染対策を行い実施されました。皆さん「久しぶりに集まりました」「元気やったね??」と笑顔で談笑されておりました。当日は大きな声を出さずに体操をしたり、音声で落語を聞いたり、輪投げをしたりと楽しく過ごしました。久しぶりに皆さんとお会いできて本当に嬉しく感じました。サロンが開催された事、その場に参加でき皆さんとお会いできた事、楽しそうな笑い声を聞き、会えるって嬉しい!!その気持ちで岐路につきました。



● 帯山西校区 “いきいきサロン”

令和3年4月21日（水曜）、帯西コミュニティセンターにて、心と体のイキイキ教室が開催されました。当日は講師に訪問看護ステーション・フォレスト熊本の森安玲子さんを迎えて、訪問看護についての講話が行われました。訪問看護とは、看護師がお宅訪問して、その方の病気や障害に応じた看護を行うことです。健康状態の悪化防止や、回復に向けてお手伝いします。主治医の指示を受け、病院と同じような医療処置も行います。自宅で最期を迎えたいという希望に沿った看護も行います。参加された皆様からは、ご自身の体験談などを話され身近に感じて頂けたかと思えます。「住み慣れた地域で安心して最期まで暮らしていく」事、選択肢は様々ですが訪問看護の存在はとても心強いなと感じました。



● 託麻原校区 “地域支え合いネットワーク会議”

毎月「託麻原校区地域支え合いネットワーク会議」が開催されています。これは、託麻原校区社会福祉協議会が主催で地域の高齢者や障がい者の方々が、“笑顔と健康で安心して暮らせるまち”を目標に地域の課題を共有し、対応策を協議していく場です。当日はコロナ禍における地域の現状や課題を共有し、サロン（集いの場）状況を確認しました。他にも、サロン代表者会議を開催できればと話し合いが行われていますがリスクレベルに応じての対応になるかと思えます。しかし、役員の方々からは、コロナ禍で中止をするのではなく、出来る方法を模索し、開催ができる方向性で検討できればとの意見も聞かれます。コロナ禍で、さまざまな活動が自粛の中、出来る範囲で事業を継続検討されていることはとても大切なことだと思えました。



★編集後記★
熊本県もいよいよ
“まん延防止重点措置”
が13日には、解除され
ますね。高齢者の皆様の
ワクチン接種も少しずつ
進み、少しでも安心して
た日常が見えてきました
ね。でも新しい生活様
式をまもりつつ、マスク
をした生活は変わりが
せん。皆さんは、13日
が過ぎてワクチンを接
種したら何をさりたい
ですか？

それを考えるだけでワクワクしますね。私は、次男が中学3年生で最後の中体連があります。今年度は通常開催されるので、本人もとても喜び、毎日練習に励んでいます。結果を残す事ができるかは、やってみないと分かりません。これまでの練習の成果を発揮し悔いのない試合になるよう、応援させていただきます。

芹川 真寿美

